

「なかしべつ景観フォーラム」～地域の営みが景観と結びつく～

アンケート集計結果について

平成26年12月5日開催

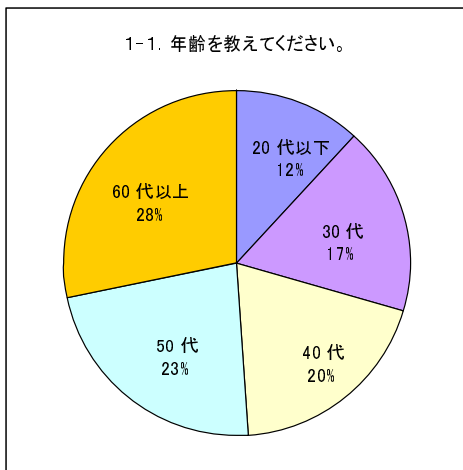
はじめに

年末で何かとご多忙の中、ご参加いただきました皆様にお礼を申し上げます。

当日は110名の参加をいただきました。配布させていただいたアンケートの結果についてまとめました。来年度以降においてもなるべく多くの皆様から意見をいただきたく、フォーラムやワークショップの開催等を検討していく予定であります。

アンケート結果については今後の景観行政の推進のための参考とさせていただきます。今後におきましても町民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

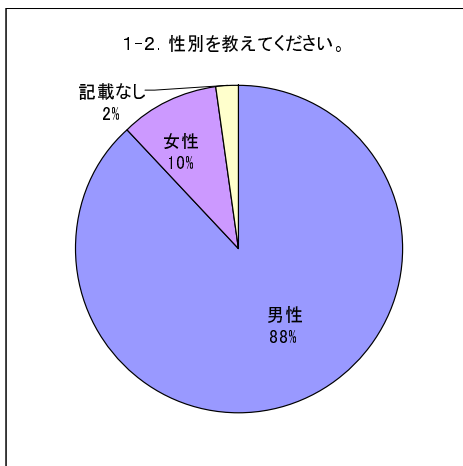
1-1. 年齢を教えてください。



フォーラム参加者は全体で110名、夜の開催のため、10代以下はほとんどいませんでしたが、全ての年齢層が大きな偏りはなく、一定数の来場がありました。

今後の景観形成の推進のためには、年齢に関係なく、なるべく多くの住民参加が必要だと考えています。

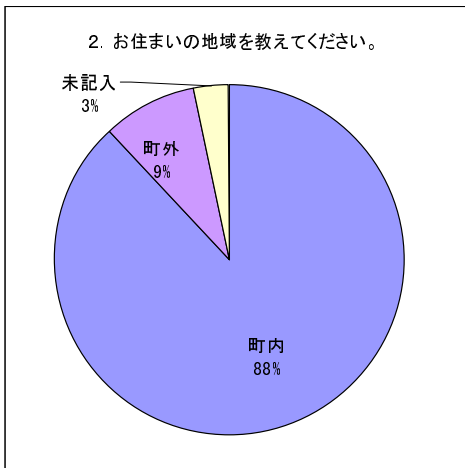
1-2. 性別を教えてください。



男性が88%と大多数を占めていました。

今後の景観形成の推進においては、女性の力が必要になってきます。開催時間の検討や、女性も参加しやすいフォーラム等の開催についても今後検討が必要だと感じました。

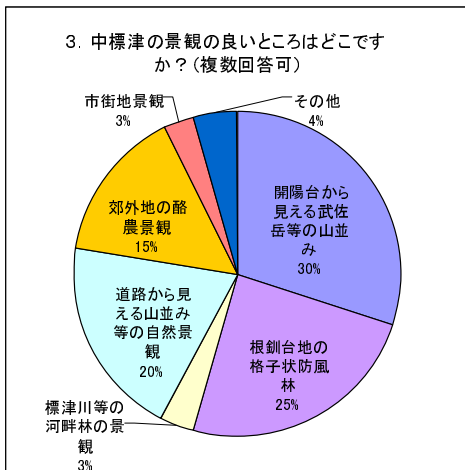
2. お住まいの地域を教えてください。



88%と町内の方がほとんどでした。

町外への周知については町のホームページ、FMはなや、町内在住者からの情報提供しかありませんでしたが、景観の取り組みについて非常に高い関心を持っている方がいることがわかりました。(標津町、別海町、浜中町他)

3. 中標津の景観の良いところはどこですか？(複数回答可)



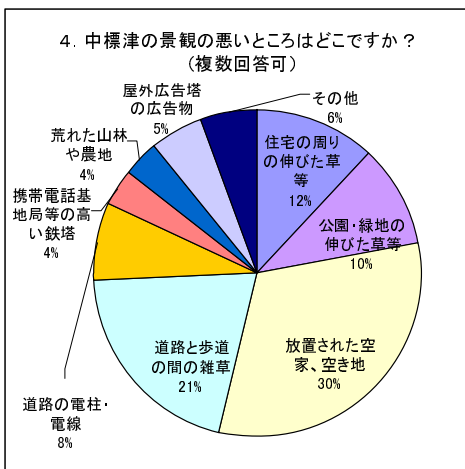
武佐岳等の山並み等の自然景観や格子状防風林の景観がおよそ70%と、多数の回答をいただきました。

その他の意見としては、「武佐岳から見える景観。」「市街地高台からの武佐岳の山並み。」「丸山公園、道路並木。」等がありました。

山並み等の自然や格子状防風林が中標津の大切な景観要素として認識されていることが改めて確認できました。

一方で市街地景観が小数となっています。市街地の良好な景観形成の推進へ向けて検討が必要であると感じました。

4. 中標津の景観の悪いところはどこですか？(複数回答可)

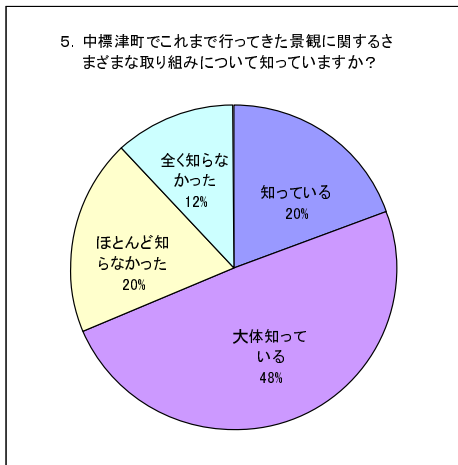


住宅の周りや、公園・緑地等の伸びた草、空き家、空き地、道路と歩道の間の雑草等市街地における景観への回答が多数ありました。

その他の意見としては、「最近の住宅の暗い色、黒い色、縦縞の鉄板サイディング。」「住宅街の統一感の無さ。」等の建物に関する意見や、「家畜の尿の臭い。」といった見た目だけではない部分についての意見もいただきました。

良好な景観形成の推進において、普段の住環境に密接な部分の取り組みが必要であることがわかりました。身近だからこそ、「きれいにしたい。」「気になる。」という部分があるのではないかと感じました。

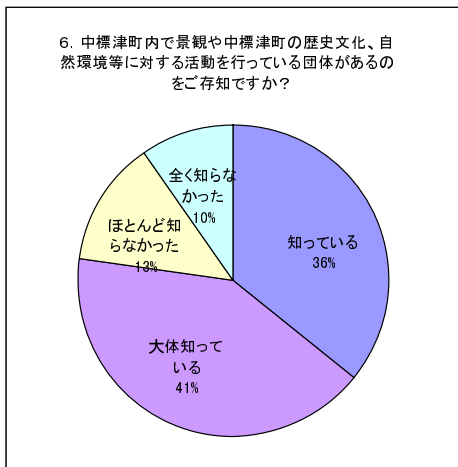
5. 中標津町でこれまで行ってきた景観に関するさまざまな取り組みについて知っていますか？



およそ68%の方が知っている及び大体知っていると回答していただきました。

景観形成の推進にあたり、これまでの取り組み状況等も含め、町民の皆様に広く情報提供できるように努めてまいります。

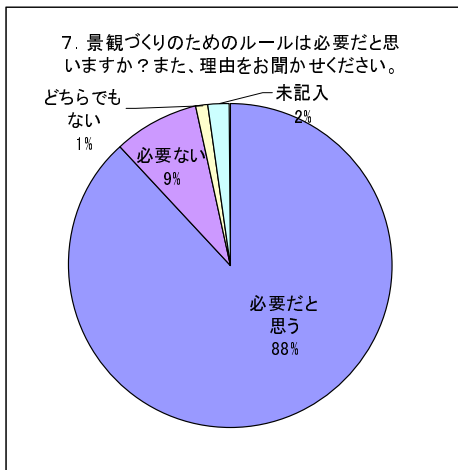
6. 中標津町内で景観や中標津町の歴史文化、自然環境等に対する活動を行っている団体があるのをご存知ですか？



およそ77%の方が知っている及び大体知っていると回答しています。

景観形成の推進にあたり、各団体との連携、協力、情報提供等を行い、これからの取り組みに活かしていきたいと考えております。

7. 景観づくりのためのルールは必要だと思いますか？また、理由をお聞かせください。



必要と考えておられる方が88%になっています。理由としては「ゴミの投げ捨て等、町民全体の意識のためのルール等。」や「統一された目的意識がなければ、景観づくりは、難しいと思う。」等の意識向上に関するもの。「ルールを軸にまとまる事もあると思う。」や「統一感があると街並みが美しくなる。」といったまとまりやバランスに関するもの。「酪農文化を伝えるため。」「ルールをすることで、より多くの人、場所を知ってもらえると思う。」といった内外へのPR、宣伝になるという意見等がありました。

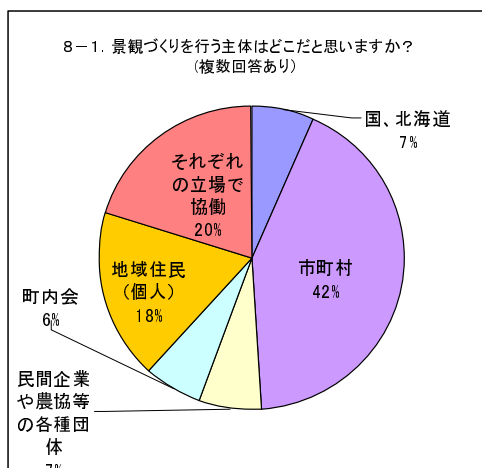
必要ではないと回答された方の理由としては「自由な発想の尊重」「建物等而建てられなくなるなど混乱を招く」等の個人財産等の制限に対する懸念があげられています。

また、「どちらでもない、自然と出来るものだと思います。」との意見もありました。

ルール＝制限というイメージがあるようです。制限まではいかなくとも、うまくルール化することにより、まとまりのある景観や、過ごしやすい環境を生み出していくこともできると考えています。人は日常のルール＝常識によって生活していると思います。あくまでも地方ルールとなるかもしれませんが、それにより意識の共有がしやすくなるかもしれないと感じました。

今後の景観形成の推進にあたり、町民の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

8-1. 景観づくりを行う主体はどこだと思いますか？(複数回答あり)



国、北海道、市町村の行政がおよそ49%となっています。次いで協働20%、地域住民(個人)18%となっています。

景観づくりやまちづくりは行政だけで行うことはできません。自分が過ごしやすい、住みよいまちはどういうものか、それぞれの人が考える必要があると思っています。

今後の景観形成の推進に向け、町民皆様の想いを景観計画等に載せ、協働による取り組みにより、進めていきたいと考えています。

8-2. 8-1の主体が景観づくりのために必要だと思うことありますか。

- ・「町民の意識づくり。」「町民の意識改革」等の**住民意識が必要**
- ・「住んでいる住人の意見」「議論する場」等の**意見を言える場所が必要**
- ・「計画的に予算を組む事」等の計画的に使用できる**お金が必要**
- ・「郷土についての知識」「文化、歴史的遺産などに力をいれたほうが良いのでは？」等の**歴史、文化に関する知識の共有や情報発信が必要**
- ・「共有できる目標像、具体的な取組み、プロセスの提示」「地域の気候風土を理解し、ガイドラインを創る事が必要」「一定の強制力は必要となると思う」「明確且つ実現可能な目標の設定および達成への計画づくり」等の**ルールや計画、仕組みが必要**
- ・「地域産業の内容充実、酪農主体のツアー、宿泊」「もっと緑を増やす」といった**産業等の活性化が必要**
- ・「積極的に身近な活動を行う」「つながり」「協働」といった、**連携や協働が必要**
- ・その他、多数のご意見をいただきました。

今回のフォーラムで感じたことはありますか？（感想等）

- ・ 景観フォーラムと言うことでしたが、文化や歴史が、その場の景観と密接な関係があるのだと言う事がわかった。まずは、中標津の歴史と文化、その意味と価値を見出す事が、重要だと思った。
- ・ こういう場に来ない人々へ伝えるのが大切だと思います。
- ・ 中標津の目指している景観がよく見えない。町が計画しても地域住民が、誇りに思える景観を理解しているのか。
- ・ 知ること、伝えることが景観を魅力的なものにする。中標津にもまだ知らない景観がたくさんある。
- ・ 主催が町でなくて良いと思う。
- ・ これからの中標津の景観まちづくりに向けて、大変考えさせられました。
- ・ 知っている、知ろうとするのは、似ているようで違う。関心を持たせるのには、発信して、その事にいかに興味を持ってもらうことを少しずつでも進めて欲しい。
- ・ 継続して取り込むことの必要性を感じた。
- ・ 神吉先生の話をもうちょっと解りやすく説明してほしいと思いました。ディスカッションの時間が短かった。
- ・ 神吉教授の話は非常に興味深かった。自然遺産の奥深さを感じた。
- ・ その他多数の意見をいただきました。

今後に向けて（まとめ）

今回のフォーラム、アンケートから見えてきた中標津町における今後の景観の取り組みで重要だと思われることについて

1. 酪農文化や歴史、自然を大切にする。そのために中標津のことをもっとよく知ることが必要。（既に知っている地元の人がいる。）
2. 取り組みを続けていく。そのためには生業（生きていくために必要な仕事）となることや、日常の生活の一部となる必要がある。
3. 連携、協働により取り組んでいく。そのためには意識を共有するための意見交換の場や情報の発信等による周知を含め、参加しやすい仕組みづくりが必要。

今後取り組みを予定している景観計画の策定においては、住民（町内会）、農業協同組合や企業等の各団体、行政が担うべきそれぞれの役割について議論を深めていきたいと考えています。

その上で必要なルールや、取り組みを積極的に行える、関わっていける仕組みを町民の皆様と共に作っていきたいと考えています。

（中標津町都市住宅課街づくり推進係）